

北谷直樹は日本で生まれ、はや青年時代からヨーロッパの舞台で活躍している。ニコラウス・アル
ンクール、ヨハン・ゾーンライトナー、アンドレアス・シュタイアーに師事。チューリッヒ音楽大学で
三年間、通奏低音の教鞭を執り、現在はチューリッヒを拠点としてフリーの演奏家として幅広い活動
を行っている。

北谷直樹を語るマスメディア全般の批評は、情感のこもった演奏の中に巧妙な技術を駆使し、音
色は色彩的表現に富み、高い即興的流麗を醸しだしていると異口同音に絶賛する。ソリスト活動
と平行して、世界的名歌手のチェチリア・バルトリを筆頭に、ヒラリー・ハーン、ジュリアーノ・カルミ
ニョーラ、ダニエル・ホープ、アルブレヒト・マイヤー、リッカルド・ミナージ、モーリス・シュテガー他と
定期的に共演している。

音楽監督、アンサンブルリーダーとしても非凡な腕前をもち、ヨーロッパ各地にてバロック器楽曲や
オペラ曲などの演奏を率いており、近年ではエマ・カークビーをゲストに迎え、レオナルド・レオ「サ
ルヴェ・レジーナ」などを演奏した。日本においても2011年、13年とアンサンブル金沢へ招聘され、
バロックのみならずフィリップ・グラスなどの現代曲まで幅広いプログラムを率いている。

コンクールの審査員としては2006年ボン、2009年ベルリンで催したドイツ音楽コンクールDeutsche
Musikwettbewerbに、ヴィーランド・クイケン(ビオラ・ダ・ガンバ)、ミハエル・シュナイダー(リコー
ダー)、シェティル・ハウグスサンド(チェンバロ)と共に審査に参加。2012年には国際古楽コンク
ール(山梨)の審査も務めた。

北谷の音楽に捧げる情熱はバロックだけに留まらず、クラシックからジャズ、ポップ、さらに伝統的
な東洋と南米の音楽へと幅広く及んでいる。

北谷のCDを絶賛する声は、独奏曲「ルイ・クーラン」(「クラシック・オンライン」の評価は10点満
点<http://www.classicstoday.com>)と「ヨハン・セバスチャン・バッハ」(「クラシッケー今日」の評価は、
音楽の質・音色の質・全体的印象の3項目全てが10点満点<http://www.klassik-heute.de>)に限ら
ず、デュオのパートナーであるモーリス・シュテガー(リコーダー)と奏する数多いCD録音も注目
を集め、何度も激賞を受けている。国内では品川聖(ビオラ・ダ・ガンバ)とのデュオ「Bach & Abel」
や青木洋也(カウンターテナー)とのアルバム「大いなる神秘」も高い評価を受けるほか、古楽器ア
ンサンブル Il Pomo D'oro (イタリア)、La Folia (ドイツ)とのCDがそれぞれリリースされている。